

新しい蓮田の未来を創ります!

# 市民クラブ未来 蓮田市議会報告

2024.10月号  
Vol.6

**会派代表** 3期

**菊池 よしひと**

蓮田市大字蓮田1032-5  
TEL・FAX:048-768-8381

建設経済委員会委員長

2期

**斎藤 斉**

蓮田市東1-4-21  
TEL・FAX:048-768-4308

民生文教委員会委員  
埼玉斎場組合議会議員

1期

**武藤 やすし**

蓮田市大字黒浜3110-35  
TEL・FAX:048-764-2662

民生文教委員会委員  
議会運営委員  
蓮田白岡衛生組合議会議員

2期

**はた くにお**

蓮田市馬込1-350-8  
TEL・FAX:048-764-0998

総務委員会委員  
(副議長は慣例により会派に属さないこととなっておりますが、本会派設立の経緯から共に報告させていただきます。)

## 令和6年9月議会でのトピックス

### 1. 落札率0.44%の問題

落札率0.44%とは、令和6年度の市長車の運転業務委託に係る入札の結果で、市の予定価格(税抜き5,352,000円)に対しての落札価格(同23,600円)の比率です。4時間単位で98円(税別)という金額になります。市では原則として、工事、委託業務や物品調達等に関しては、入札により契約業者を決めています。その際、①建設工事と②建設工事に係る設計等に関する委託業務についての**最低制限価格制度**を設けています。本件の入札はこの①②以外の案件であって、入札時点では最低制限価格の設定が規定されていないために手続き的には問題はありません。しかしながら、社会全体が賃金の上昇を図りもって人々の生活環境の改善を目指している時でもあり、また、このような入札自体が決して適切な競争の結果とは言えず、社会通念に照らして大きな問題があると考えたことから、蓮田市でも早急に①②以外の入札案件でも最低制限価格制度を取り入れるべきとして、**はたくにお**は総務委員会で、**菊池よしひと**は本会議で、それぞれ討論を行いました。



### 2. 次期総振の前倒し策定

**はたくにお**は、蓮田市の最上位計画である**蓮田市第5次総合振興計画(総振)の中間見直し(案)**が令和5年3月議会上に上程された際、「**本案は昨今の社会情勢等の変化への対応が不十分である**」とした質疑や、6年3月議会では「**次期総振の早期策定を提案する旨の一般質問**」を行いました。このようなこともあり、9年度(2027年度)までを計画期間としている現行の総振ですが、市は次期総振の計画策定に1年前倒しで取り組む予定であることを表明しました。

## 議会改革の推進

今年度から再び蓮田市議会の改革に着手しました。**市民クラブ未来**では主な項目として次のものを提案しています。

- ① **議員定数の適正化**(平成18年以降見直しを行っていない議員定数について、複数名の減)
- ② **常任委員会の見直し**(全議員参加型の予算・決算委員会を設置)
- ③ **議会・委員会において資料デジタル化とデジタル機器使用の緩和**
- ④ **一般質問における全体時間の緩和**(75分→90分)
- ⑤ **定例議会のあり方の検証**(市長専決をできるだけ解消するため、議会開催の柔軟化)



## 武藤やすし 一般質問

### 自治会活動の現状と課題について

昨年蓮田市では「自治会からの脱会」が相次いでいると聞きます。私の住む地域でもご近所の方々が次々に退会され「ひとり班」になりました。このままでは地域のコミュニティが消滅し、災害避難など緊急時に大きな問題が出てきかねません。ここでの市の問題認識を質しました。

- 質問** 蓮田市の自治会加入率は50%を切り、危機レベルと考えるがどうか。 **答弁** 重要な課題として認識しています。
- 質問** 加入率減少の背景をどう認識しているか。 **答弁** 高齢のため自治会活動ができないなどの理由が考えられます。
- 質問** 危機にある自治会へのテコ入れなどの対策を考えているのか。 **答弁** 次の役員が見つからないなど成り手がいない状況があり、自治会の負担が少しでも減るように研究していきます。

### これら答弁から、

- 自治会が衰退しつつある現状は市として認識しているものの、その原因(動機)への分析とそれへの打ち手が少ない
- 防災対応も含め色々な対応が「自治会任せ」になっており、いざという時への危機管理対応は進んでいない
- ことがわかります。色々の要因となっている役員の負担、特に国勢調査員業務、各種委員の選任などの任務について、必要なら市で代替するなどの具体策を講じるべきではないかと主張しましたが、具体的な対応への言及はありませんでした。そこで自治会の脆弱化で地区のコミュニケーションが途絶えることで、災害時の市民の安全に影響を及ぼす可能性がある点を質しました。

- 質問** 災害時の対応を自主防災組織に委ねるのでなく、市が船頭として取り組まないと自治会が崩壊した地区の避難対応などが機能しないのではないかと。 **答弁** 災害時には「共助」の果たす役割が大きいことは実証済みであり、リーダー育成などの取り組みを実施しています。自治会に属さない人々へは避難所を拠点として個々の状況把握や物資配布など必要な支援を行っていきます。
- 質問** 避難活動を円滑に行うには近隣間の連絡経路は必須。市が先導してSNSを活用し「災害時の連絡体制の再構築」を行うことが有効ではないかと。 **答弁** 地域コミュニティの再構築と災害対策の実効性という観点から慎重に研究をしております。

- このようなマニュアル的な対応では本当にいざという時に「誰一人取り残さない災害対応」は実践できないと思われま。地区住民の**仲間感・連帯感の再構築につながる「最初の一步」の具体的な対策を講じるよう、今後も強く求めていきます。**



### 市政への「民間の力」の活用について

民間活用について、市としては「指定管理者導入」「新運HSA」などを進めてきたとされていますが、これらはあくまで市の主導権のもとに民間を絡ませて事業を行うもので、「民の知恵と力に任せてみる」発想に立っていません。

- 質問** 地元企業が参画する形で中央大手企業との合併事業などの連携を模索するのはどうか。 **答弁** 民間事業者を活用する方が効果的と考えられる事業が出てくれば検討すべきとの考えです。
- 質問** 企業版ふるさと納税が今後続く場合、蓮田市の事業を民の力やコストで進める観点で活用していく考えは。 **答弁** 有効な手法であり、公正性を確保し法に則って進めていきたいと考えます。
- 質問** 市の事業に「民間が自発的に参画しに来るように引き込む」という攻めの姿勢への転換については。 **答弁** そのような意識は有しているが、現実にとどの事業に的を定め構築するかなどさらに内部検討が必要と考えています。

「民の活用」という考え方は市として持っているものの単に民間の参加余地を作るだけでは寄付を含む民間の関心や貢献を得ることは難しく、民間の事業として成り立つ=利益を見込める事業環境を公共が用意しそれをウインウインで育てていくという視点でこれからの蓮田市の事業構築を考えていくべきとの指摘を行いました。

例えば「中央公民館の老朽化再構築に絡めた蓮田駅東口周辺への多機能施設ビル」「蓮田の果物を断然美味しくする科学研究を事業化」などネタは豊富にあります。**「市外からは面白く思われ、市民は皆ワクワクする」いろんなプロジェクトを皆で提言し、作っていきましょう!**



## 斎藤 斉 一般質問

### 終活支援について

1. 家族や親族がいない人、いても頼ることができない身寄りのない高齢者が病気で倒れたり亡くなったりしたら、誰が面倒をみられるのでしょうか。もし死亡したら、親族に看取ってもらえないどころか、死亡届は誰が出すのでしょうか。遺骨になってもう人がいなければ無縁遺骨になるのだそうです。これは、結婚しない人、子供を持たない人、親と同居しない人などが増え「家族」「親族」のつながりが薄れ、「いざという時に頼れる人がいない」一人で暮らす高齢のおひとり様が増えていることにも原因があるようです。全国に先駆けて先進的な終活支援を始めたのが神奈川県横須賀市です。身寄りがなく葬儀を行う人がいない「引き取り手のない遺骨」の増加が深刻な問題となっていた横須賀市は、2015年に葬儀や納骨などの大きな心配事の解消に向けた支援として「**エンディングプラン・サポート事業**」を立ち上げました。

これは経済的に余裕のない一人暮らしの高齢者を対象に葬儀から納骨までを約26万円で生前契約できる協力葬儀社を市が案内するという仕組みで、市の職員が契約に立ち会うほか、定期的に安否を確認し、死後希望どおり葬儀や納骨が行われたかも見届けるとい**画期的な取り組み**といわれています。市民なら誰でも利用できるという訳ではありませんが、「エンディングプラン・サポート事業」によって、経済的に余裕がなく身寄りのない高齢者であっても、本人の意向を尊重した葬儀が可能となったようです。利用者の女性は、「死んだ時のことを考える必要がなくなり、楽しく生きていれば、いいなと思うようになりました」と、そこで伺います。



- 質問** エンディングプラン・サポート事業の導入についての考えはありますか。 **答弁** 蓮田市では終活支援を含む幅広く相談を福祉総合相談窓口及び地域包括支援センターでお受けしています。相談内容や件数等を踏まえ、様々な視点から検証しながら、事業の必要性について研究したいと考えています。

- 質問** 蓮田市における引き取り手のない令和5年度のご遺骨の数とその保管場所は。 **答弁** 引き取り手のないご遺骨として、令和5年度に4名の方の対応を行い、ご遺骨は、葬祭業者に依頼し、葬祭業者が提携している霊園で永代供養いたしました。

2. こちらも「身寄りのない高齢のおひとり様」の支援として、横須賀市が2018年に全国で初めて「**終活情報登録伝達事業**」を始めました。「高齢のおひとり様」の生活を支える時に最も重要なのは「情報」なのだそうです。こちらは市民なら誰でも緊急連絡先、かかりつけ医師、遺言書の保管場所やお墓の所在地等を無料で生前登録でき、万一本人が倒れたり亡くなった場合、病院や警察など、また本人が指定した方からの問い合わせに市に必要な登録情報を開示します。2021年2月同市内に住む90歳の男性が心不全で病院に運ばれた時、看護師に「(保証人になる) 家族はいない」と伝えたところ、入院を断られそうになったという。そこで以前作った市の「終活情報の登録証」を示したところ「これでいいのよ」と言われ入院でき助かったとのこと。近年は全国的に「終活」を支援する取り組みが広がりをみせているようです。東京都豊島区では2021年に「終活あんしんセンター」を設け、相続や遺言・葬儀などの相談に応じ、情報を提供し「終活情報登録」も始めたそうで、実務は豊島区民社会福祉協議会が担うとのこと。そこで伺います。

- 質問** 終活情報登録伝達事業の導入についての考えはありますか。 **答弁** 横須賀市における終活情報登録カードの内容は、蓮田市のオリジナルエンディングノートに記載すべく項目と大部分で一致しています。終活情報登録伝達事業の導入については、先進地における取り組みの効果、検証に注視し、先進的な取り組みを研究したいと考えています。

- 質問** 蓮田市のエンディングノートの配布実績および課題は。 **答弁** 令和元年度に初版を作成、配布開始し、令和5年度に死後事務委任契約についての情報を追加等として改訂版を作成しました。配布数は、令和元年度から5年度までの累計で2,936冊です。人生の最終段階においても、本人の意思が尊重され、より多くの方に活用してもらえるように取り組みます。

身寄りのない高齢のおひとり様対策の重要性に気付いた政府自民党の有志勉強会からは、2023年8月7日省庁横断的にその支援の具体策を検討すべきとの提言をまとめ、岸田文雄首相(当時)に渡したのが勉強会の会長である上川陽子外相(当時)でした。岸田首相は「政府として何ができるか、しっかり考えたい」と前向きに取り組む考えを示したとのことでした。やっと身寄りのない高齢のおひとり様対策が動き始めたようで、良い対策を待ちたいものです。

## 菊池よしひと 一般質問

今議会では猛暑や大雨などに関連のある質問をさせていただきました。今年の夏は複数回にわたり豪雨となり、私が蓮田で体験したことのないような突風もあり、防災の重要性を痛感した夏でもありました。一般質問では **1. 夏季の消防出動について 2. 公共施設のエアコンについて 3. 雨水対策について 4. 黒浜調整池について** を質問しました。それぞれの質問に関しては菊池よしひととブログ及びHPにてご確認できますのでよろしくお願ひします。

### 公共施設のエアコンについて

#### ● エアコンの故障状況及び室内の温度について

- 質問** 故障している施設は。 **答弁** 学校を除く市内の47の公共施設のうち、故障しているエアコンがある施設は6施設です。老人福祉センターについては全館、残りの5施設につきましては一部エアコンが故障しています。



- 質問** 設定温度にならない施設は。 **答弁** 47の公共施設のうち、設定温度にならない施設は5施設です。経年劣化や一部不具合による能力不足を原因としています。

- 質問** 設定温度にならない5施設とは。 **答弁** 本庁舎の一部会議室等、農業者トレーニングセンター、保健センター、老人福祉センター、かもめ作業所の5施設です。

- 質問** 設定温度にならない施設はどのように対応しているか。 **答弁** 機能しているエアコンの温度調整と共に、サーキュレーターや扇風機の活用による空気の循環等を行うことで対応しています。

#### ● エアコンの更新メンテナンス状況について

- 質問** エアコン更新の手法は。 **答弁** 現状では各公共施設の所管課で、施設の状態に応じ更新を行っています。手法につきましても、各施設の規模や状況に合わせて、施設の所管課が検討し更新等を実施しています。

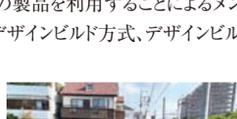
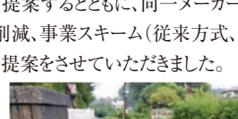
- 質問** エアコン更新についての課題及び対応は。 **答弁** 多くの公共施設が竣工から30年~40年以上経過し、空調設備についても経年劣化が進んでいるので、どの施設から取り組んでいくかということが課題です。対応としては、公共施設の管理について、庁内関係課にて検討してまいります。

- 質問** 現在の課題として、客観的に施設全体の状況をみて優先順位をきめて更新順位をきめて更新を行っていくことができていないのではと思っています。現在では庶務課が施設計画などの書類は作成しているが、施設の状態を把握して優先順位を決めるにいたってはいないかと考える。また、その権限もない状況である。この現状を市はどう考えているか? **答弁** 現状、公共施設の管理は、各施設の所管課が行っています。修繕や更新の必要が生じた場合は、所管課ごとに予算を確保し対応しています。今後、施設の老朽化等により、空調機器の修繕や更新を必要とする施設が増加した場合は、その対応のための財源や人材に限られている中で、緊急的な修繕や更新に対応することが難しくなることを認識しています。

私は早急に公共建築物を総合的に管理的に部署を設けるよう提案するとともに、同一メーカーの製品を利用することによるメンテナンス効率化、複数の施設の更新を同時に行うことによる経費削減、事業スキーム(従来方式、デザインビルド方式、デザインビルドオペレーション方式、リース方式)について市の方針を定めるよう提案をさせていただきました。

### 雨水対策について

令和6年7月27日、8月19日の雷雨及び8月末の台風10号の影響による大雨では市内各地で道路冠水などが発生しました。本来であれば市内すべての冠水箇所をそれぞれ質問したかったのですが、今回は蓮田地区の3カ所「大字蓮田八幡溜(冠水、湧水)」「蓮田4丁目地内」「下関戸地内」に関して質問をしました。詳細は菊池よしひととHPにてご覧になることができます。



- 質問** 下関戸地内(水道局近く) **答弁** 大雨による冠水は、排水管路の詰まりや、排水ポンプの故障などが原因と見られます。排水管路の点検や、ポンプの点検を行うことで対応しています。

- 質問** 大字蓮田八幡溜 **答弁** 大雨による冠水は、排水管路の詰まりや、排水ポンプの故障などが原因と見られます。排水管路の点検や、ポンプの点検を行うことで対応しています。